第三種郵便物認可（一）（昭和二十五年十二月六日 福國特別承認新聞紙 第621號）
磐城毎日新聞
昭和26年 2月22日（木曜日）第226號

# 磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番
定價1ケ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

## 豫算を増額設計變更

### 原町書類を撤回平に協力

### 平養老園

養老園の建設計畫については既報の通り平市では建設計畫書及建物の設計書を再調製の上縣當局ではこれを厚生省に提出したが平市では厚生省から豫算を六百萬圓に限定された爲め建物に防火壁を設ける餘給がなかつたので已むを得す防火壁のない設計書を提出したのであるが厚生省で檢討の結果防火壁を設ける豫算の増額を認めこの程縣を通じ設計の變更方の指示があつたので市土木課で目下防火壁を設ける設計書を作製中である、尚養老園設置の爭奪に乘り出した原の町では同町に設置の見込み薄となつたので自發的に提出書類を取り下げ平市に設置する事に協力するに至つたので平市に建設される公算が愈々強くなつたものと見られている

### 平市議戰

## 舊歳末年始利用の事前運動

### 嚴重取締りを要望さる

地方選擧の市町村長及議員の選擧は四月二十三日と決定し平市に於ても特に市議の立候補者は定員三十名に對し少なくも倍數の六十名に達するものと豫想され早くも自薦他薦の候補が入り亂れ潜行的の運動が相當激烈に行はれていたが最近ではこれが表面化し舊歴の歳末年始を利用してお歳暮或は年始に事寄せ白晝公然と物品を贈り來るべき市議選の投票を依頼する事前運動が行はれて居りこの種の運動は舊平市内から舊平窪、飯野、神谷等の農村地區に進出しているのが大部分で食糧事情の好轉と農業地の不況から從來見られた農業地區の候補者が主食或は蔬菜等を市内に持ち込み投票を獲得したのと逆な現象を現はし違反行爲が行はれているが當局の嚴重な取締りを要望されている

### 勞働會館の創立記念 三月四日講演會開く

平市大工町勞働會館では創立三周年を卜し炭勞常磐支部、日礦常磐連合會共催の下に三月四日記念式を行ふなお同日の記念式には炭勞委員長武藤武雄氏日礦顧門菊川忠雄氏等が來平し勞働問題について講演する

### 日農地區協議會 松井代議士臨席

日農石城地區協議會では二十二日夜會長松井政吉代議士が來平することになつたので二十三日午前十時より勞働會館において地方選擧對策及二十五日から開かれる日農縣連大會について委員會を開く

## 平市の鎌田山上水道

### 二十七日起工式を擧行

平市では豫て計畫中の鎌田山上水道新設の着工準備中であつたが漸く準備が完了したので地元選出代議士並に參院議員、大竹縣知事、大和田副知事、縣衞生、土木兩部長外地元有志約八十名を招待し來る二十七日午前十一時より鎌田山の現場に於て起工式を擧行することゝなつた、同工事は二十五年度より二十七年度まで三ケ年の繼續事業で總工費豫算は特別會計で二千萬圓であるがその内譯けは起債七百五十萬圓、縣補助三百萬圓、寶くじの發行或は競輪の利益金四百五十萬圓を充當、殘りの五百萬圓は條例で決められている水道使用料を充てる事となつて居りその設計は鯨岡地先幕の内橋下流夏井川より伏流水を集水、動力を以て鎌田山の配水池に毎秒時二個水を揚水し配水管で七町目の既設鐵管に接續するもので二十七年の夏季までには完成の豫定である

## 炭勞鬪爭 古河遂に妥結す

### 常磐地區の大手筋全部解決

常磐、隅田川の斗爭妥結については既報の通りであるが古河勞組は十八日に十九日から入るストを四十八時間延期その後會社側の回答を待つて居たが二十日午後三時より團体交渉を再開坑内四百四十圓坑外二百六十圓家族手當四百圓を以て妥結午後五時半圓滿解決した

こゝに至り三社共斗の常磐古河隅田川は夫々最高の線で辛くも交渉成立常磐地區の大手筋三社の斗爭は全く終了した

### 勞働協約につき懇談と映畫の會

平勞政事務所では二十二日午後一時より勞働會館において管下の各組合代表者を招き勞働協約についての懇談會を行う、なお終了後映畫「腕をくむ人達」を上映する

## インテリー男

### アドルム自殺未遂

相馬郡原町文房具商木幡重信（三五）は十九日朝八時頃平市北白土八幡神社附近の道路上でアドルムを飲み苦悶しているのを通行人が發見し平市署に屆出たので市署及市社會課から係員が急行鎌田町諸橋醫院に收容し手當てを加えた結果一命を取り止め原の町の實家から父親が來平、二十日午後五時三十七分發列車にて連れ戻つたが同人は某私立大學出のインテリーで裡面に相當複雑な事情があるものと見られている

## 鹿島の强盜全部擧る

### 四人組で一名は自首

去る十九日午前零時半頃鹿島村走熊小和田七雜貨商小野藤一さん方え押入つた强盜については既報の通りであるが其の事件直後平地區署鹿島村巡査駐在所では非常線を張つて犯人嚴探中のところ同日午前一時半頃土工風の男が小名濱からの歸りと稱し小名濱の方え向つて歩行中なので不審尋問の結果平市一丁目五〇土工藤野義男（二七）で四人組の片われと判明平地區署に連行した、藤野が逮捕されたと判明するや共犯の平市白銀町七日雇土工富永祐弘（二二）は覺悟をきめ同日正午市署え自首した、更に同日午後零時半頃平市十五丁目一二土工宮崎七男（二六）は自宅で午後三時半頃夏井村山崎無職牧野弘（二三）は五色町で遊興中夫々逮捕された、主犯は宮崎と見られ餘罪もある模様、二十一日四名とも身柄を送檢される

## 四ツ倉の殺傷事件

### 教唆の疑で親分兄弟擧る

十八日夜四倉町の火打合現場でのピストル殺人事件については既報の通りであるが其の後四倉署で取調の結果八巻秀重（二八）山木は誤報を打つた佐藤のピストルは終戰直後佐藤の親分高野忠重（三五）と同人の兄の爲行（三七）兄弟が横濱方面から入手したものらしく十九日高野兄弟を殺人教唆の容疑で逮捕犯行を否認のまゝ同日夕方送檢した、また佐藤を刺殺したのは八巻の子分同町本町鈴木康短（三三）及大谷進が親分一大事とばかりかけつけてやつたものらしく現在取調中

## 中平窪のトバク

### 八名が一網打盡

平市中平窪富貴内六二農業福田長一郎（四九）赤井村不動堂七二土工遠藤道（三二）平市中平窪勝見澤一四農業上妻利一（四六）赤井村赤井常仕新町一三四浪曲師高千穗事成與春（二七）平市上平窪横山六一農業鈴木三明（五二）平市中鹽富貴内七〇農業松本增吉（六七）澤渡村澤渡根小屋一〇一製炭業松山太郎（四五）平市中平窪高橋九四精米業小室正利（三六）以上八名は二十日午後二時頃から前記小室方に於て花賭博を開帳中一網打盡に平市署に檢擧されたなお遠藤、鈴木の兩名は頑强に犯行を否認している

二十一日晩は東よりの風曇りで寒さはやわらぎませう二十二日南東の風暖かですが曇り天氣次第に惡くなり夕方より雨模樣と成ませう海上は南東の風强く明晩よりしけ模樣小型漁船は注意を要します

あらゆる印刷は……
大和田
印刷所え

本場＝自慢
牛豚肉
配達迅速
第一線屋
第二線屋
第一 電話五三九番
第二 電話七九四番

大臣賞授賞
アメリカで大好評!!!
國産始めての
素晴らしい照明
輕くて堅らうな
トヨダミシン
輸出特級品
トヨタミシン
シンガーミシン
特約代理店
元平營業所
平市二丁目
ミシン
石川商會
（平信用組合向ひ）
電一二三二番

和洋輕食
と
支那料理
出前迅速
茂登女
平市仲田町 電二〇四

皆樣の魚店
磐城名産
鰹節
鹽辛
㊀丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

うまい!!
安い!!!
好評の
シュウマイ
中華そば
和食＝洋食

三丁目
平会館
電六二四

内科
呼吸器科
後藤醫院
後藤全久
平市鍛冶町 電一〇三六番

## 民族の英雄（4）

此のあたりとなると、農業は北部中國より倍も忙しい一年の間に、霜のおりる期間が短かくて作物の育つ期間が三百日近くもあるのだから、田畑は年から年じゆう運轉されているわけだ、したがつてこの地方ほど、作物の種類をたくさん植えている地方も少い、どつちにしろ、子供はひつぱりだこだ。

まずイネの種まきが四五月、ワタが同じ頃、ダイズが五、六月、と言つて居る間に去年の秋にまいた、オオムギ、ナタネ。ソラマメエンドウを取らねばならない、それにイネというやつが、いくらでも手を食うやつだ……少しはイモも植えよう……というようなことで、夏の盛りをちよつとすぎたら、もう、ダイズ、綿花の收獲にかからねばならぬし、イネの收獲という大仕事のなかに投げ込まれる、それがやつとすむと冬作物の種まきが控いて居る。

水牛を使つて、土をすき起す事や、種まき作業のかんじんな所とか、田畑に水をくみ入れる作業とかいうような、祖先傳來の熟練や重勞働を必要とする場所は子供にはやらせないが、大人の主要な勞働をめぐつてそれを補うような勞働は、大いに子供達の參加を期待するわけだお、母さんの相棒、家畜の世話、肥料あつめ、草取り、物の運搬、あらゆる勞働が、農場のあらゆる隅々から、マオ君を呼ぶ………。

こういう農村の世界で、こういう子供の世界で、小さいマオ君は、ほんとに良く働らき、むりに働かせられる事は、がまんがならない、むりに學ばされる事にも、がまんがならない、うじて、不當に壓白される事には、がまんが出來ないのだ、そこで、ぽつ〳〵事件が起きて來た。

その第一は、村の小學校でだ、マオは小學校で、クンズ(孔子)の教えを書いた昔の、いかめしい本を習つて居た、處ろがその先生は保守反動のガリガリ屋と聞えて居る、彼は、おそろしくきびしく、子供達をなぐつた。

ある時、ナオのマオ君はこのため、學校から逃げだした、だがさて、家に逃げてかいれば、どうなるだろう…………。續く

## 火力發電と纖維工場
### 小名濱誘致委員會で討議

小名濱町では工場誘致に伴う運動が各方面に徹底して大小となく小名濱町を目當てに工場の建設を計畫され最近に於けるその一つの現はれとして既報の通り火力發電所建設計畫があり火力發電所は敷地四萬坪內外であるから大規模と云うべきではないが、其內容は六萬キロの發電裝置である點から見て建設費が三十億圓に達すると言はれて居るが、この建設に依つて、他の工場建設後の配置機構の上に如何に便宜を寄與さるかは贅言を要せないと云う見地から遂に是れを取り上げて建設運動に入る可く二十一日委員會を催す事となつたこれと同時に東洋纖維株式會社社長川角五郎氏の計畫による同會社工場の建設も有望視されているのでこれも委員會に依つて檢討する必要性を認め、火力發電所建設運動と共に委員會で協議し運動の方法を討議する事となつた

## 平市の火災絶滅運動
### 出すな起すな「火の用心」

平市では消防署、消防團火防組等が主体となつて火災絶滅運動を實施することに決定し十九日には町內連絡員の打合せ會を催し運動方針を決定し二十日には消防に要する水利檢査を行つたが二十二日以降の日程は次の通りである

▲二十二日=各學校長、敎務主任の參集を求め少年消防クラブの編成に關する打合せを行う

▲二十六日=少年消防クラブの編成を實施、この少年消防クラブは小學校五年生以上の希望者を以つて編成するものであるが火災發生時に消防に從事するものではなく防火思想の普及が狙いで兒童を通じて家庭に於ける火災豫防に對する注意を喚起するのが目的である

▲二十七日=興業場等幕合い利用の宣傳實施

▲二十八日=既存の立看板橫斷幕、懸垂幕等の施設を行う

▲三月一日=消防署員及第五、六、七分團の消防團員による火災豫防の一齊査察を實施

▲二日=危險區域に對する防火計畫の檢討

▲三日=各區每に防火講演座談會等開催

▲四日—消防機械器具の點檢整備充實

▲五日—第一、二、三消防分團の火災豫防査察並に消防訓練

▲六日—防火講演、座談會の開催

▲七日—學校、官公署、工場その他自衛消防の訓練指導

## 小名濱二中の建築
### 竣工期限で問題化す

小名濱町立第二中建築工程は三月二十六日竣工期限であるが、また二棟とも棟上にも至らないので請負者である作山組の誠意を疑い十九日午後四時町役場に請負者の出席を求めて竣工期日に就き小野委員長より詰問された處によると期日迄には到底竣工不可能との見透しがついたので小野委員長は委員會を召集し協議に附し竣工期日の確守不可能より生ずる諸般の手續きを了せねばならない結果となり場合によつては補助金の返納問題なども發生し由々しい問題と化する恐れもあるので小野委員長は水野町長と打合せの上二十二日頃委員會を開くとの意見を發表した

## 舊正十五日のことなど（二）
### 林 平山人

吉田首相は英語が達者であることは有名であるが對馬守はおそらく話さなかつたろう、然しハリスもオールコックもその誠意には頭を下げたと云う、眞心は大切である、と云つて言葉が大切でないとゆう譯けにはならない、ただ恐らく彼の通譯も對馬守に劣らぬ誠意の持主であつたろう、中、高生の英語の實力がガタオチだとPTAのインテリPがやきもきして居るのを聞く

中學生は高校の受驗課目に英語がないから勉強しないのだろうか、敎師の質が惡くなつて居るのだろうか然しこれもかれも戰爭に傷ついた人々の姿である、日本人として新しい世界の水準に立とうとはげまし合わねばならない

昔江戸に遊學した平藩の進歩的な儒者たちは故鄕に歸つてその封建の小さなワクを破つた、現在中央で活躍している政治家、實業家がまた在米の石城人が現在のそれを破りつゝあることは嬉しい、われわれも彼らとともに大きな眼を開いて行きたい、歷史研究とはいたづらに反古紙を探しその中に埋もれることではない、明日の文化が如何にあるべきかを教示するものである人の惡いのは磐城の平……自分から惡いものとあきらめているような人間と私は今後も交際したくないと思つている、世界の會談は眞劍に交はされている、そして再び我々は安藤對馬の守信正公の銅像は要らない、彼はつねに我れわれの心の中に成長してゆくであろう

一九五一、二、二

## 平二小の學藝會
### 二十四日講堂で

平第二小學校では二十四日土曜午前九時より同校講堂で學藝會を催す事となつたが父兄側の多數參觀を望んでいる

## 公民館落成を念記
### 湯本婦人會で演藝

湯本町婦人會では十八日會員七十二名が婦人會會議室に參集、目下建築中の公民館の落成を記念して婦人會の各分會を單位とする演藝の競演會を催す事を申し合せた、公民館の落成は四月上旬の豫定

## 太陽丸乘組員の供養
### 廿一日江名町で執行

去る十五日江名岬百五十マイルの地點でSOSの急報も空しく沈沒した第三太陽丸乘組員平井船長以下十四名の合同慰靈祭は二十一日朝九時より江名町眞福寺において取行ふ

## 拾い讀み

一九五一年のアメリカンスタイルとでも云はうか、一寸素適な某官廳の○孃と◎廳口角泡をとばさんばかりのすさまじさ、ついそばに居たので聞くまいと思つたが！良心的ですこと？小耳にはさんだ「あんたストーブにのつけるとすぐだヨー」「こげつかねえけ」「お湯でもさしてかけんのケー」「かまわねーんだよー」「そのまゝで」「そうけどのくらいかゝぺ」「五分か十分位ていかつぺした」「そんぢやけんとおらーかけてくうのすきだつぺだから面倒くさくて」「だけどみんなやればいかつぺーね」はゝあなる程、畫のお辨當が冷たいのでそれを如何にすればぬくゝおいしく喰べ得るか檢討中か？それにしても、ニユースタイルのお孃さんが、ぺーづくしのお談議には私も微笑が顏中に泛んできた　世の淑女方よ!!　希くば外觀は如何に飾つても心の奥まで粉飾してはならないと思いますがどうですか、だからと云つてぺーづくしでまくしたてろとゆうのではありませんよ、裸になつて即ちざつくばらんにそこに女性らしい謙譲さをもつた言語動作が欲しいと思います

外科
木村醫院
木村淳
平市南町 電三〇九番

産科
婦人科
齊藤醫院
齋藤正雄
平市南町 電九〇二番

耳鼻
咽喉科
鈴木醫院
鈴木正男
平市田町 電六一三番

性病科
皮膚科
矢吹醫院
矢吹大一郎
本院 平古鍛冶町 電一二九三
分院 平鎌田町 電一二九五

平市下平窪
川角牛乳店